

番号	5	令和4年度公共事業再評価調書		担当課名：道路整備課		
事業名	道路改良事業		事業主体	静岡県		
箇所名	一般国道135号 <small>よしだ かわな かくふく</small> 吉田～川奈拡幅		関係市町	伊東市		
事業採択年度	平成 20 年度	計画期間	平成20年度 ～ 令和20年度			
用地着手年度	平成 21 年度	工事着手年度	平成 23 年度			
再評価理由	再評価実施(H29)後5年間が経過した時点で継続中					
全体事業費	百万円 7,500	投資状況 (百万円)	～R2年度 1,469	R3年度 119	R4年度見込 170	計 1,758
事業概要	<p>(1)事業目的 一般国道135号は、伊豆半島の東海岸沿いで南北軸を形成し、生活・観光・産業活動を支える重要な幹線道路である。当事業区間は、2車線改良済であるが、唯一の幹線道路であるため周辺の交通が流入し、交通上のボトルネックとなっている。 本事業は、「三の原交差点」～「殿山交差点」までを4車線化することで、慢性的な渋滞を緩和し、安全で円滑な交通を確保することを目的とする。</p> <p>(2)事業内容 計画概要：延長3,300m 計画幅員 車道13.0m(全幅22.0m) 4車線 現道拡幅 道路工3,300m</p>					
【視点1】 事業の必要性等	<p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 当該区間では交通量が21,728台/日(H27センサ)と多く、慢性的な渋滞が発生する交通上のボトルネック(混雑度1.25)となっているが、コロナ渦前までの伊東市観光客数は増加傾向である。</p> <p>(2)事業の投資効果 ○現時点(R4)での費用便益分析結果：B/C=2.3、EIRR=6.7% ・総便益(B)：138.53億円 (走行時間短縮便益：130.71億円、走行経費減少便益：7.62億円 交通事故減少便益：0.20億円) ・総費用(C)：60.82億円 (建設投資額：60.43億円、維持管理費：0.90億円、用地残存価値：0.50億円)</p> <p>○見込まれる効果(定性的な効果) ・円滑な交通の確保 慢性的な渋滞の緩和により、交通が円滑化し、災害時の輸送力強化や高度医療機関へ搬送が迅速化 ・観光活性化への寄与 多数の観光資源へのアクセス性が向上し、観光産業の活性化に寄与</p> <p>(3)事業の進捗状況(令和4年度末見込み) 【事業費】 23.4%(1,758百万円/7,500百万円) 【事業量】 9.2%(303m/3,300m)※H26d：三の原交差点の改良が完了 【用地取得】 6.4%(2,305m²/36,000m²) ・全体工区のうち川奈口交差点から殿山交差点間を優先的に整備中。</p>					
	評価	継続が妥当 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない				
【視点2】 今後の事業の進捗の見込み	<p>完成した三の原交差点の改良に続き、現在、優先的に進めている川奈口交差点から殿山交差点までの区間において、R3に道路工に着手した。地元の期待も大きく、順調に進捗していることから、計画期間内の完成が見込まれる。</p>					
	評価	継続が妥当 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない				
【視点3】 新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性	<p>(コスト縮減について) 新技術・新工法の活用、建設発生土の他工事流用によりコスト縮減を図っていく。</p>					
対応方針(案)	<p>(1)対応方針(案) 本事業を(継続)・見直し後継続・中止)する。</p> <p>(2)理由 本事業は、慢性的に発生する渋滞を緩和し、安全で円滑な交通を確保するものである。近年、観光客数の増加により必要性が一層高まっており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、優先的に進めている区間の用地取得が7割達し、一部工事に着手するなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。</p>					

一般国道135号 吉田～川奈拡幅

(「費用便益分析マニュアル」国土交通省道路局 都市・地域整備局 令和4年2月)

総括表

I) 総便益 B	138.53 億円
総便益 = [評価期間内に当該路線を整備しなかった場合に発生する経費] - [評価期間内に当該路線を整備した場合に発生する経費]	
II) 総費用 C	60.82 億円
総費用 = [当該計画道路の建設投資額] + [当該計画道路の検討期間内に必要となる維持管理費]	
III) 費用便益比 B/C	2.28
IV) 経済的内部収益率 EIRR	6.7 %

I) 総便益Bの算出

①各種費用のR12^{※1}の便益

	走行時間費用 (億円/年)	走行費用 (億円/年)	交通事故損失額 (億円/年)	合計 (億円/年)
整備しなかった場合 A	470.62	82.22	12.29	565.13
整備した場合 B	457.52	81.45	12.26	551.23

便益 A - B	13.10 時間短縮便益	0.77 経費減少便益	0.02 事故減少便益 ^{※2}	13.89
-------------	-----------------	----------------	------------------------------	-------

- ・「時間便益」：道路整備による走行時間短縮を賃金率等で金銭評価
- ・「走行便益」：走行円滑化による燃費向上等に伴う走行経費節約を金銭評価
- ・「事故減少便益」：道路整備により交通事故件数が減少し事故の社会費用が減少する評価
- ・表示桁数の関係で、計算値と一致しないことがある。

※1 交通需要推計の適用年次

※2 事故減少便益は「費用便益分析マニュアル(国土交通省)」の算定式により算出しており、条件によってはマイナス値になることもあるが、交通事故増加に繋がるものではない。

②総便益の算出

供用後50年間を評価期間としているため基準年の年間経費に各年の割引率をかけ、便益を算出し、当該道路を整備しなかった場合とした場合の差を求め、総便益とする。

	走行時間短縮 便益(億円)	走行経費減少 便益(億円)	交通事故減少 便益(億円)	総費用 (億円)
総便益 (R21～R70)	130.71	7.62	0.20	138.53 … B

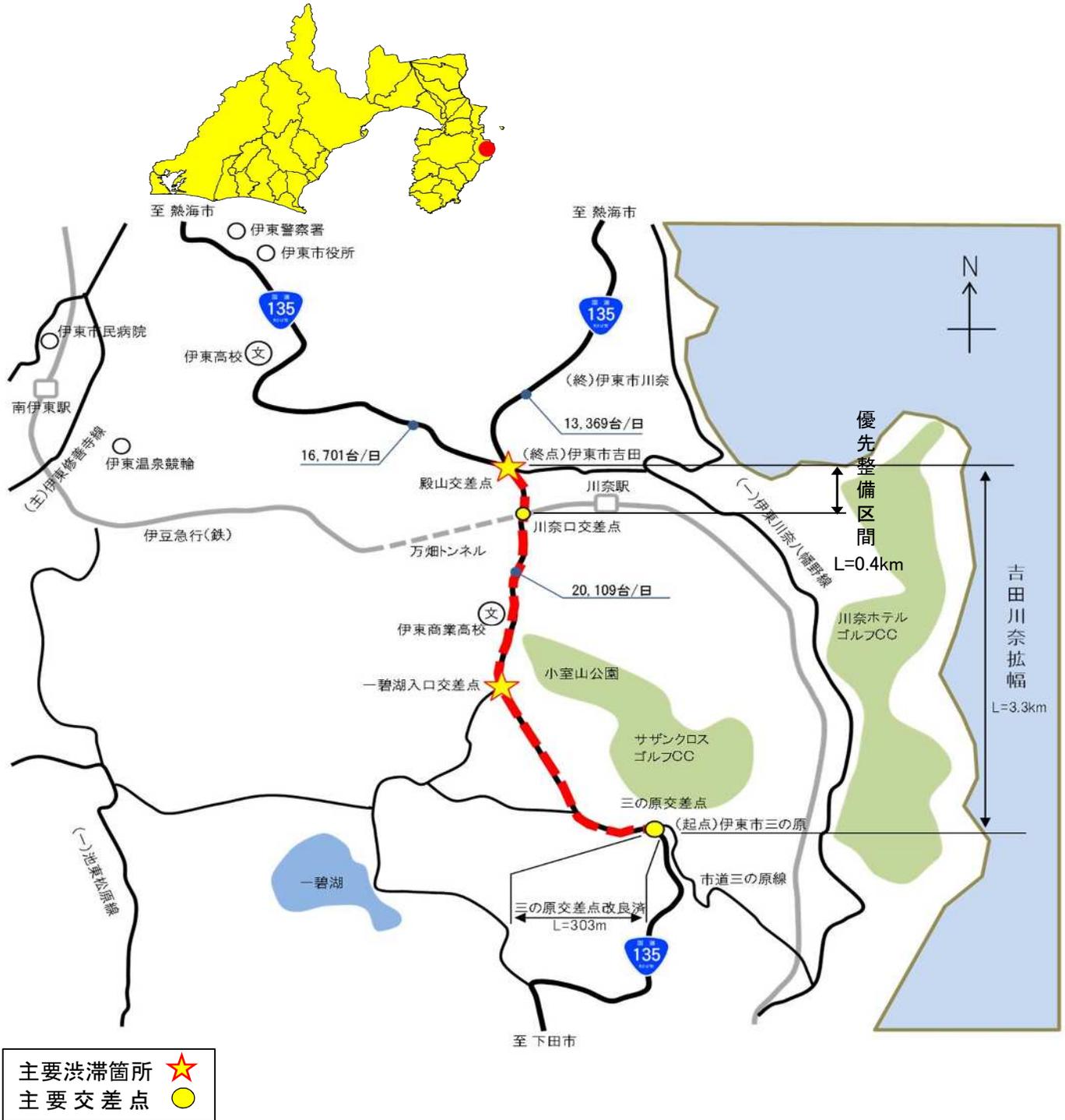
II) 総費用Cの算出

[総費用] = [建設投資額] + [維持管理費] - [用地費の残存価値]

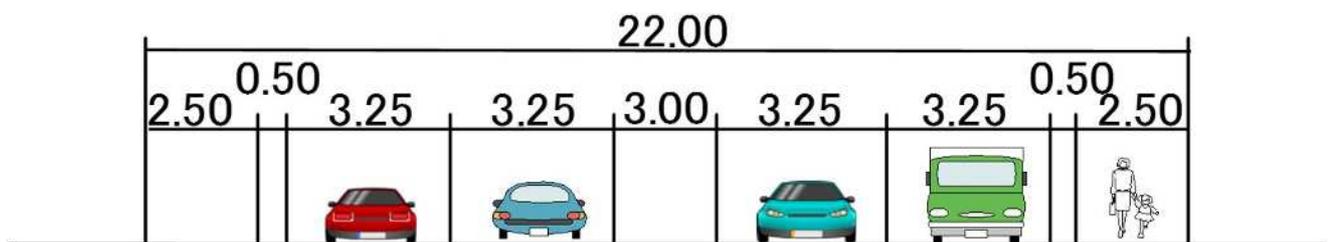
事業費 (億円)	建設投資額 (億円)	年間維持管理費 用(万円/年)	維持管理費 (億円)	用地残存価値 (億円)	総費用 (億円)
75.00	60.43	783.09	0.90	0.50	60.82 … C

- ・「建設投資額」：建設費用を算出基準年次の価値で評価するために各年年次ごとに割引率をかけ、合計したもの。
- ・「維持管理費」：整備延長に対する年間維持管理費用に割引率をかけ、供用後50年間を合計したもの。
- ・「用地費の残存価値」：検討期間後の残存価値を現在価値化したもの。
- ・表示桁数の関係で、計算値と一致しないことがある。

■位置図



■標準横断面図



交通の円滑化

渋滞状況



センサス交通量（観測地点：水無田交差点）



混雑度	交通状況の推定
1.0未満	昼間12時間を通して、道路が混雑することが無く、円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.0～1.25未満	飽和時間はほとんどの区間で1～2時間以下 昼間12時間のうち、道路が混雑する可能性のある時間が1～2時間（ピーク時間）ある。何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25～1.75未満	飽和時間は0～12時間 ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑へと過渡状態と考えられる。
1.75以上	飽和時間は0がほとんどなくなる。慢性的混雑状態を呈する。

【出典】全国道路・街路交通情勢調査

高次医療施設へのアクセス向上

第二次救急医療施設 位置図



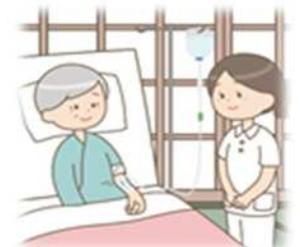
消防へのヒアリング

事業区間のうち、吉田地区内ではある程度道路が整備されているが、それ以外では上下線各1車線しかなく、**渋滞に巻き込まれ、活動に支障が生じることは非常に問題**です。早急に混雑緩和のための整備を進めて欲しい。



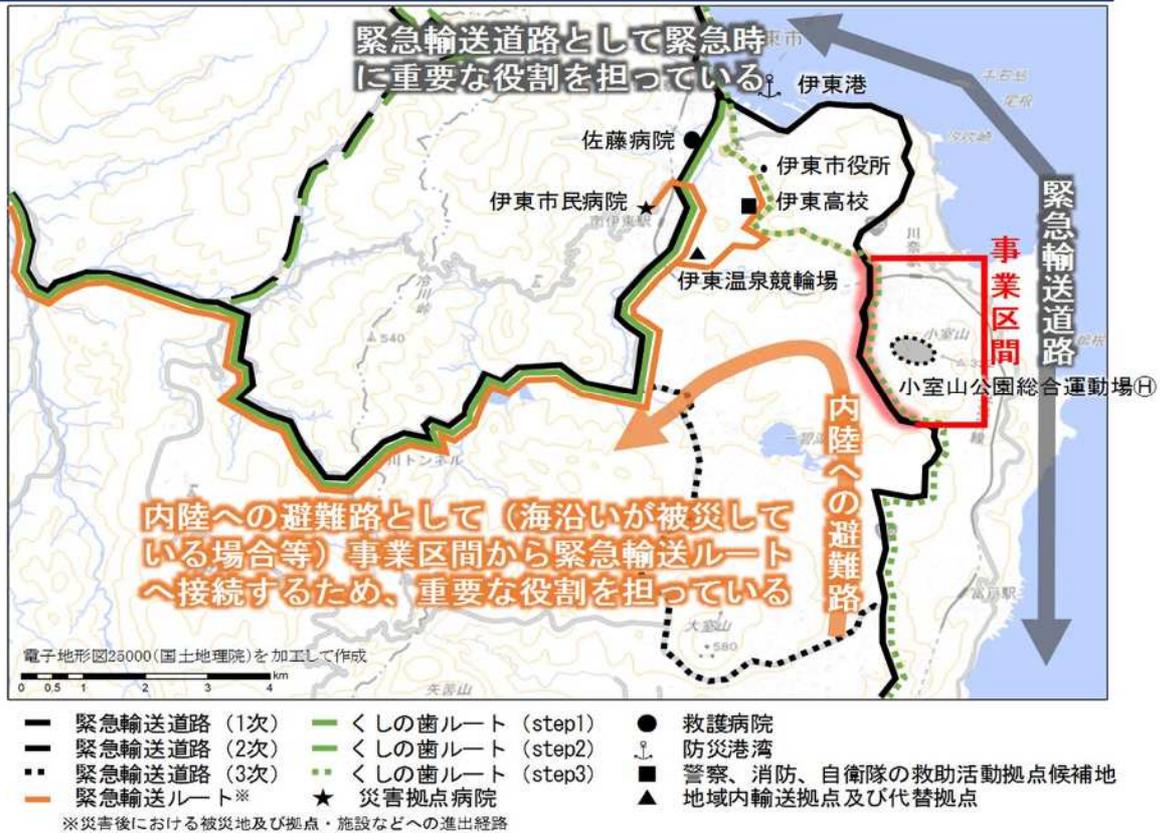
訪問介護施設へのヒアリング

ある程度の渋滞はやむを得ないものとして、余裕を持って訪問予定時間を調整しているが、国道135号は、**特に夏季のシーズンの渋滞がひどく、訪問予定時間が大きく狂う**ことが多い。国道135号は、伊東市のメイン道路であり、渋滞が発生しにくいよう、整備を進めて欲しい。



■災害・防災への備え

緊急輸送道路・緊急輸送ルート及び防災拠点位置図



■産業・観光活性化への寄与

事業区間周辺の観光地

★コロナ禍（令和2年）にも観光施設を新設

1. 新施設名
(1) 施設名称
小室山リッジウォーク「MISORA」(呼称: ミソラ)

山の雄偉を堪能する「R1(ジョウ・アブリッジ)」とこの雄偉に沿って敷いたボードウォークの「R2(リッジウォーク)」を組み合わせた「小室山リッジウォーク」なし、ボードウォークとから雄大な「海」と「空」を同時に楽しむことができる場所を表現する「海空MISORA」としました。

<施設ロゴ、イメージ>

MISORA

(2) 経営カフェ名称
Cafe #321 (呼称: カフェ サンニイナ)

標高点を表す番号「#」に小室山の標高321mを組み合わせ、このカフェが小室山の山頂であることを印象付ける名称としました。

<店舗ロゴ、イメージ>

Cafe #321

2. 開業日時 2021年4月23日(金) 9:30



観光客数の推移

伊東市の来游客数はコロナ以前増加傾向

伊東市 年次別来游客数推移



■前回からの変更点・理由

	前回（H29）	今回（R4）	主な変更理由
①計画期間	H20～R10	H20～R20 （+10年）	・用地交渉の難航し用地取得に想定以上の時間を要したため。
②全体事業費	7,500百万円	7,500百万円 （変更なし）	—